

ご挨拶

筋の通らないところに結果は出ず、取り組むからには結果を出さねば意味が無い。そして、結果を出すべく責任を持って取り組む姿勢を忘れない。望んだ結果がでなければ、原因を分析し、改善策を考える。この基本を徹底し、日々勉強を怠らず、経験を糧とし、学んだことを活かし、これら積み重ねが力となって、ようやく国家・国民に貢献できるようになると考え、地道に歩いてまいりました。

私は、国政の課題と向き合う時、当たり前ですが、常に「公＝国家」を意識しています。昨今、様々な課題が生じる中、残念ながら、目先の課題を優先し、その解決だけで終わるという、個別最適解を求める暫定的な対応が散見され、その暫定に暫定を重ねて、課題がどんどん増えてしまうという悪循環に陥りかけているように感じています。国の対応力は無限では無いことから、状況や問題点を精査・分析し、根本的な所からの見直し・建て直しを図り、中・長期的視点で包括的かつ少しでも恒久的に近い解決策も合わせて模索していかないと、いずれ国家が機能不全になり、いよいよ暫定対応すらできなくなるのではという危機感すら持っています。まして、大変厳しい安全保障環境に加え、今後到来する少子高齢化・人口減少社会は、未だかつて、私たちが経験したことのない社会であり、今まで通りの対応で乗り切れることは難しいと言わざるをえません。

それゆえ、私は、従来の枠組み通りに解決策を考えるだけでなく、私たち日本人が育んできた知恵を最大限発揮し、切り口を変えたり、バラバラに機能しているものを繋げたり組み替えたり、重複しているものをまとめる等、課題解決の軸を明確にして再構築することで、今のうちに国力の強化を図り、迫り来る厳しい将来に少しでも備えたいと考えています。

AIなど便利なツールも多数出てきましたが、それをどう使いこなすかは人次第であって、やはり最後は人なのだと思います。私は、ずっと一貫して「国づくり、地域づくりは、人づくりから」を信条に、どの国政課題と向き合う時も、人づくりは必ずセットで取り組んできました。

まだまだ課題は山積みです。中途半端な取り組みで終わるわけにはいかない、強くそう思って活動しております。どうか皆様のご指導を賜りますことを切にお願い申し上げます。

参議院議員 赤池 誠章

赤池まさあきプロフィール

昭和36年山梨県生まれ。明治大学政治学科卒業。松下政経塾で松下幸之助氏に「人づくり」の重要性を学ぶ。専門学校長を経て、平成17年衆議院議員に初当選。平成25年参議院議員通常選挙比例代表(全国区)で国政復帰。国土交通委員会理事、文部科学大臣政務官、文教科学委員長、自民党文部科学部会長(三期)、内閣府副大臣等を務め、現在、党政務調査会副会長(国土交通・内閣担当)、党海運・造船対策特別委員会幹事長代理、海事立国推進議員連盟事務局長、海事振興連盟常任理事、海洋教育推進プロジェクト座長。参議院議員二期目。

<https://www.akaike.com>

【後援会事務局】

〒400-0032 山梨県甲府市中央1-1-11-2F
TEL 055-237-5523 FAX 055-237-5281

【国会事務所】

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館524号室
TEL 03-6550-0524 FAX 03-6551-0524

参議院選挙の投票方法

「2回」投票します

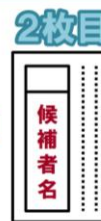
- ① 都道府県選挙
- ② 比例代表選挙

① 都道府県選挙区



各都道府県の候補者名を書いて投票します。

② 比例代表（全国区）選挙



全国どこからでも、**比例区の候補者名**を書いて投票できます。

(政党名でも可)

比例代表選挙は、政党名およびその政党に属する候補者個人への投票数の合計に応じた各政党への議席配分から、候補者名での投票数の多い順に当選者が決まる非拘束名簿式です。

日々勉強、
結果に責任！

参議院議員 比例代表（全国区）

赤池
まさあき

国づくり、地域づくりは、人づくりから

日本は海洋国家！海事産業あってこそその日本の繁栄！



我が国は、海に四方を囲まれた海洋国家であり、海事を考えずして日本の成長・発展の持続はありえません。海事産業は日本の基盤であり、まさに国益に直結する産業群です。しかしながら、我が国を取り巻く大変厳しい安全保障環境に加え、少子高齢化・人口減少社会の本格的到来は目の前まできていて、今後、人材の確保・育成が厳しくなれば、我が国の基盤が揺らぐ事態となりかねません。それゆえ、私は、文教政策に長く携わってきた経緯もあり、担い手の育成強化を最重要課題として取り組みつつ、海事振興に力を注いでまいりました。

赤池まさあきの取り組み

▶ 小・中・高校の学習指導要領に海事産業の記載を実現！

長年、海事団体よりご要望を頂いていた学習指導要領への記載について、関係各位とともに活動を強化して展開しました。その結果、小中高の学習指導要領改訂時、外航、内航、旅客船、造船等の海事産業の重要性の記載が初めて実現しました。それにより、教科書の記載が大幅に拡充されることに繋がっています。



▶ 商船高専5校の練習船の順次更新を実現！



令和4年10月13日
「大島丸」進水式

平成30年9月の弓削商船高専視察、令和元年10月の富山高専の練習船視察、そして関係各位との意見交換で、老朽化した練習船では教育に支障が出かねないという実情を認識するに至り、練習船の更新に取り組みました。令和元年11月には、国立高専機構や、商船5校の校長及び教職員・卒業生、立地自治体の首長等による練習船更新の期成会と、海事振興連盟加盟の海事各団体にお集まり頂き、関係国会議員とともに「商船高専5校の練習船更新と教育の充実」に向けての集会を自民党本部で開催し、文部科学省や財務省へ要望活動を行いました。結果、関係各位の熱心な思いが通じて、商船高専を所管する文部科学省と財務省で調整がなされることになり、練習船の計画的な更新の決定に繋がりました。



令和6年3月22日
「弓削丸」竣工式

▶ 海洋教育推進プロジェクト座長として、人材育成・強化に注力！

海洋教育推進プロジェクトを設立し、座長として海洋教育推進のための様々な活動を展開しています。東京での定期的な会合に加え、海事拠点都市で勉強会を開催し、海事関係者や教育関係者にご参加を頂いています。高校生に研究発表をしてもらうこともあります。H28年は福岡市・苫小牧市、H29年は高知市・神戸市・八戸市、H30年は新潟市・三原市、R1年は静岡市、R2年は佐世保市、R3年は東京、R4年は広島市、R5年は呉市、R6年は酒田市で勉強会を開催し、現地の状況や意見交換をしつつ、新たな活動に繋げる等、人材育成・強化に取り組んでいます。

赤池まさあきの決意

次回の学習指導要領改訂時、海事関連の記載のさらなる拡充を目指します。

近々、次期学習指導要領の改訂議論が始まります。内憂外患の中、それを乗り越える人間力と資質の向上が不可欠です。コロナ禍の経験からも、海事産業の重要性に対して国民の理解は広まっており、改めて、海洋国家を担う海洋人材がいかに重要か、記載の拡充に取り組みます。

練習船「鳥羽丸」、「若潮丸」、「広島丸」の確実な竣工まで全力を尽くします。

現在、鳥羽商船高専「鳥羽丸」が建造中で、令和6年秋には進水、令和7年春に引渡し予定です。そして、今後は、富山高専「若潮丸」、広島商船高専「広島丸」が順次更新されていきます。予算確保が前提ですが、練習船は防災拠点にもなりますので、全船の確実な竣工まで全力を尽くします。

「海洋国家」日本の繁栄のために、人材確保・育成強化に取り組めます。

急速な船舶の技術革新により、船員の国際化等、高度化に対応する人材育成が急務です。官民連携組織である海洋教育推進プロジェクトの活動を促進し、義務教育段階からの海洋教育とキャリア・職業教育の連携を図り、海洋系教育機関が立地する離島や半島等の振興にも繋げてまいります。

私達も応援しています！

全日本船舶職員協会	会長	広重康成
	前会長	酒迎和成
北斗会長(旧富山商船高等専門学校同窓会)		玉川 宏
鳥羽商船高等専門学校同窓会	会長	菅沼 延之
広島商船高等専門学校校友会	会長	中山 隆志
弓削商船高等専門学校同窓会	会長	柏木 実
大島商船高等専門学校同窓会	会長	広重 康成